

# NPO 法人 DGC 基礎研究所 2016 年 5 月期事業報告書

I 事業期間 2015 年 6 月 1 日 ～ 2016 年 5 月 31 日

## II 事業の成果

### 1. 街路樹剪定枝葉の有効利用の推進

公園の緑化樹や街路樹などの剪定枝葉は毎年大量に焼却処分されている未利用資源ですが、剪定枝葉を分別せずに資源化する従来の方法では用途が限られるために需要が伸びないという問題があります。剪定枝葉を枝と葉に分別すれば、枝はそのままマルチング材に利用できるほか、パルプや木炭などの原料、バイオマス発電のための燃料として利用できます。一方、葉（生葉）は土壌改良材だけでなく、植物栽培用の培地にも利用できます。

当法人は継続的な技術指導、研究機関との共同研究や主要技術の特許化を推進すると共に、国土交通省や自治体、民間企業への技術の普及を図る活動を行っています。また、国道 43 号道路緑化樹の剪定枝を利用した「国道 43 号名刺」は当法人の事務局や会員のほか公益財



「剪定枝葉と刈草の活用技術」全体図

団法人公害地域再生センター（あおぞら財団・大阪市西淀川区）などでも使われています。なお、大阪府吹田市において「剪定枝葉の地産地消」の事業化が内定していましたが、市長の交代により延期された状態が続いています。また、ある大手住宅関連会社による技術導入も検討されています。当法人は粘り強く各所への働きかけを行っています。

[参考] 有限会社マツテル <http://matteru.com/>

### 2. 高等独文解釈のウェブサイト公開 <http://dgcbase.jp/deutsche/>

上級者向け独文読解のためのサイト「高等独文解釈」は大阪大学名誉教授（故人）が独文解釈用に収集した文章とその和訳の遺稿を試行的にウェブ公開するものです。この遺稿は当初は参考書として出版されるためにまとめられましたが、一般の学生にはやや難解であることから出版が見送られていました。それから約 20 年を経た現在では、本ではなくインターネットを利用して発信することができます。ドイツ文学の学生のみならず一般の愛好家の方々にも広く読まれることを期待して、ウェブサイトにて 124 題を無料公開しています。

### 3. とよなかサイエンス BAR

「サイエンスカフェ」とは、学術講演会やシンポジウムなどの専門的な催しではなく、カフェのような雰囲気の中で科学について気軽に語り合う場を創ろうという試みです。日本でも様々な場が設けられていますが、専門家による一方的な講演に陥りがちで、会場に居合わせた誰もが「気軽に語り合う」までにはなかなか達していないようです。



「第30回とよなかサイエンスBAR」の様子

「とよなかサイエンス BAR」は、お酒やおつまみを楽しみながらもっと気軽に参加することを期待して、とよなか起業・チャレンジセンター（豊中市蛍池中町3-9-20）に集う有志により創設されました。第23回（2015年1月13日）より当法人が主催となり、講師の選定や会計業務などを担当しています。参加者の中にはリピーターも多く、とても活発な質問や議論が交わされています。当期中は以下の6回を開催しました。

第26回「日本人と魚、漁業と今と昔と未来 ～地球の一員として考える～」

井戸篤史氏（愛媛大学大学院南予水産研究センター特任准教授）

2015年7月21日、くつろぎサロン（豊中市蛍池中町3-8-8）

第27回「美味しい発酵の立役者たち【超基礎編】 ～酵母や細菌をめぐる誤解を解く～」

横山拓也氏（株式会社アイワークス BIO 代表・サイエンス BAR マスター）

2015年9月25日、くつろぎサロン

第28回「身近な微生物を生活・社会に役立てる ～発酵工学の最先端～」

高木博史氏（奈良先端科学技術大学院大学工学研究科教授）

2015年11月25日、くつろぎサロン

第29回「政治を科学する(1) いま地方議会が面白い！ ～ある街の市議会議員の日常から～」

倉田晃氏（池田市議会議員）

2016年1月22日、サンパティオ多目的コミュニティホール（豊中市庄内西町3-1-5）

第30回「サイエンスとアートのはざままで ～万物の多様性を可視化する伝統をたどる～」

三中信宏氏（農業環境技術研究所上席研究員・東京大学大学院農学研究科教授）

2016年2月5日、当法人事務局（豊中市曾根東町1-5-13）

第31回「世界遺産について」

片岡英夫氏（世界地理博士）

2016年3月18日、サンパティオ多目的コミュニティホール

[参考] とよなかサイエンス BAR（とよなか起業・チャレンジセンター）

<http://toyonaka-incu.com/saiensuba-.htm>

#### 4. 電子ジャーナル「土壤植物栄養研究」 <http://dgcbase.jp/wjsspn/>

土壤・植物栄養分野の研究は、結果が得られるまでに年単位の時間を要することがよくあります。しかし、都道府県農業試験場では近年この分野の研究者が少なくなりつつあり、異動も常態化しているため、数年にわたる息の長い研究を行うことが難しくなっています。一方、継続的な研究ができるはずの大学では研究分野が細分化されて学際的で多様な議論の場が減り、地域に根ざした試験も実施しづらくなっているようです。この分野における地道な調査や研究の成果はこれまで農業生産や環境保全に大きく貢献してきましたが、今後もその重要性は揺るがないでしょう。

電子ジャーナル「土壤植物栄養研究」は、土壤・植物栄養分野の中でも生産現場に近い調

査・研究情報を迅速かつ十分な精度で提供するために開設されました。農業試験場や大学の研究者が充実した成果を即座に発表するための場として活用され、さらに農業生産の向上や環境保全に生かされることを期待してします。

#### 5. 研究者集団につながる窓口の運営・その他 <http://dgcbase.jp/>

事務局やウェブサイトでは、学際的な共同研究、社会学連携による研究開発やイベントの企画立案などについての問い合わせを随時受け付けています。研究者集団への相談窓口としての役割に留まらず、科学的で俯瞰的な現状認識に基づいたコンサルティングを行っています。

なお、「科学の普及啓発に資する図書」を毎事業年度末に近隣の公立図書館へ寄贈していますが、その候補となった図書がいずれもすでに所蔵されていたため、今回の寄贈は見合わせました。

### III 事業の実施状況

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

##### (1) 産官学民連携推進事業（一般会計）

【内 容】 産官学民連携事業の企画および支援

【実施場所】 京都府、大阪府、インターネット

【実施日時】 随時

【対 象 者】 参加希望者

【収 入】 4,310 円

【支 出】 83,997 円

##### (2) 科学普及啓発事業（一般会計）

【内 容】 「とよなかサイエンス BAR」の開催

【実施場所】 くつろぎサロン（豊中市蛍池中町3-8-8）、当法人事務局（曾根東町1-5-13）、サンパティオ多目的コミュニティホール（庄内西町3-1-5）

【実施日時】 2015年7月21日、9月25日、11月25日、2016年1月22日、2月5日、3月18日の19時～21時

【対 象 者】 好奇心旺盛な大人の方

【収 入】 223,000 円

【支 出】 225,973 円

### IV 社員総会の開催状況

#### 1. 定時総会

【開催日時】 2015年8月22日、16時～17時30分

【開催場所】 当法人事務局（大阪府豊中市曾根東町1-5-13）

【出席者数】 正会員10名（正会員総数26名）

【議 案】 第1号議案 2015年5月期事業報告及び活動決算の承認の件

第2号議案 次期役員を選任の件

【審議結果】 第1号議案は、満場異議無く承認可決した。

第2号議案は、各立候補者が満場一致をもって選任された。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1. 理事会

【開催日時】 2015年7月31日～8月7日

【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）

【出席者数】 理事3名（理事総数3名）、監事1名

【議案】 事業報告書案および決算報告書案の承認の件

【審議結果】 上記2案のいずれについても、満場異議なく原案通り承認した。

【開催日時】 2015年8月22日、17時30分

【開催場所】 当法人事務局（大阪府豊中市曾根東町1-5-13）

【出席者数】 理事3名（理事総数3名）

【議案】 次期代表理事および次期副代表理事の選定

【審議結果】 理事全員の互選の結果、いずれも現職が再選された。

以上